

CMT-7取扱説明書

この度は弊社製品をお買い求めいただきありがとうございます。
本書の内容をよくご確認のうえ正しくご使用下さい。

梱包内容

- CMT-7本体
- センサー固定用耐熱テープ×4
- 固定用ミリネジ×4
- 取扱説明書兼保証書（本書です）

特徴

- 7つのファン速度を手動もしくは自動でコントロールすることができます。
- 4ヶ所の温度を計測し、表示することができます。
- LCDとボタンのバックライトを6色に切り替えられます。
- アルミ製シャーシ/フロントパネル/ブラケットを採用しています。
- ボタンロック機能で、ケースのパワー/リセットスイッチを無効にできます。
- LCDが赤く点滅しブザーが鳴るので、わかりやすいアラーム機能。
- ファンPWMレベル、時刻、HDDアクセスと多彩で視覚的にわかりやすい表示内容。
- 単3電池2本を内蔵し、設定を記憶可能。

仕様

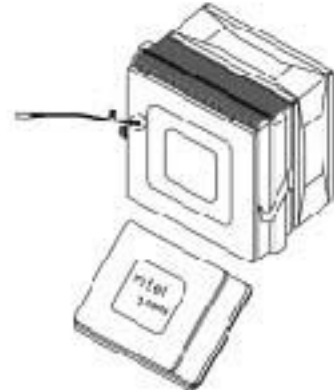
- サイズ: W148×D69×H42mm
- DC入力: +5V及び+12V（標準4ピンコネクタ）
- DC出力: PWM方式（各最大300mA）
- 温度センサーケーブル長: 600mm
- ファン接続ケーブル長: 600mm
- ファン速度測定範囲: 0～9900rpm（100rpm単位）
- 温度測定範囲: 最高90℃/195F
- LCD表示サイズ: 18×64mm
- LCD視野角: 上方15～45度の範囲が見やすいように調整されています。

設置方法

- 1:PCの電源が入っていないことを確認して下さい。
- 2:任意の5インチベイに取り付け、添付のネジで固定して下さい
- 3:電源ケーブルを接続してください。電源ケーブルは赤・黒・黒・黄の組み合わせの線です。
- 4:F1-F7までのコネクタに任意のファンを取り付けて下さい。F1:CPU F2:HDD F3:VGA F4:SYS F5:SYS F6:SYS F7:SYSと表示されていますが、任意の組み合わせで構いません。自動ファンコントロール機能を使用する場合、T1-T4までの温度センサーと連動しますので、組合せにご注意下さい。
- 5:T1-T4までの温度センサーを任意の場所に設置し、付属の固定テープで固定して下さい。T1:CPU T2:HDD T3:VGA T4:SYSと表示されていますが、任意の組み合わせで構いません。
- 6:電源コネクタをシステムの電源ユニットに接続します。
- 7:接続に間違いがないことを確認し、背面スイッチをONにしてからPCの電源を起動して下さい。

温度センサーのセッティング例

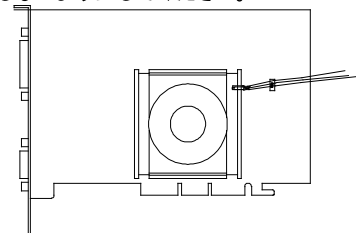
- T1/CPU：ヒートシンクまたは、CPUダイの周辺にセッティングしてください。CPUダイ表面とヒートシンクの間に温度センサーを設置しないでください。CPUを安全に冷却するためにはCPUダイとヒートシンクは十分に密着している必要があります。CPUダイ以外のセラミック部分とヒートシンク間に十分な隙間がある場合のみ、その間に温度センサーを設置してもかまいません。



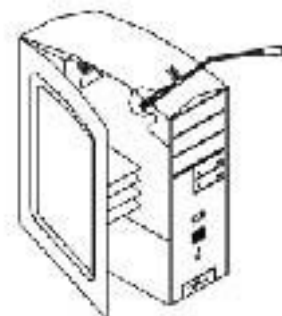
- T2/HDD：HDDの裏側にセッティングしてください。



- T3/VGA：ヒートシンクにセッティングしてください。VGAチップに直接セッティングしないようにしてください。



- T4/SYS：システム上部など、ケース内の温度を計測しやすい場所にセッティングしてください。

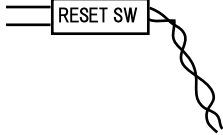


各部機能を使用する場合のセッティング

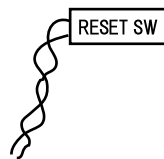
■ボタンロック機能を使用する場合

POWER SWケーブルとRESET SWケーブルを、マザーボードの電源スイッチコネクタとリセットスイッチコネクタ、ケースの電源スイッチケーブルとリセットスイッチケーブルに接続してください。それぞれ、オス・メスがあるためご注意ください。オス側は保護ソケットを外してください。

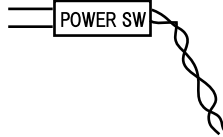
ケースのフロントパネルへ
(保護ソケットを外して下さい)



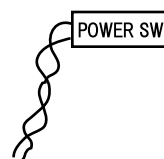
マザーボードへ



ケースのフロントパネルへ
(保護ソケットを外して下さい)



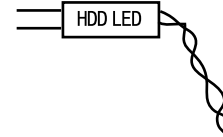
マザーボードへ



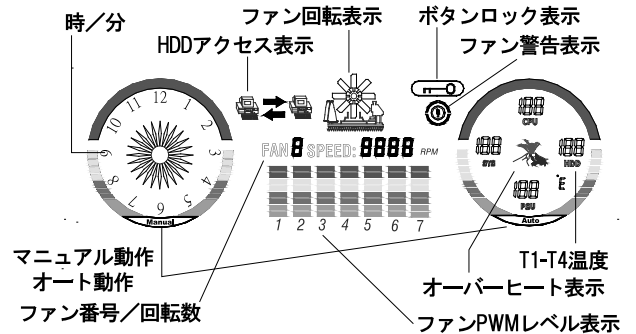
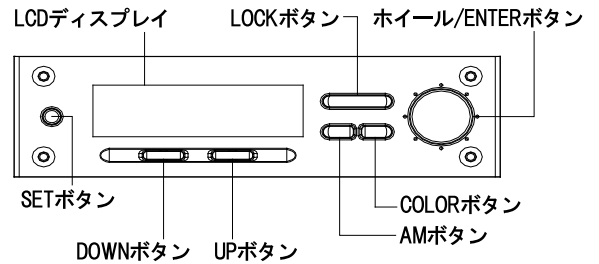
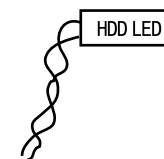
■HDDアクセス表示機能を使用する場合

HDD LEDケーブルをマザーボードのHDD LEDコネクタとケースのHDD LEDケーブルに接続してください。それぞれ、オス・メスがあるためご注意ください。オス側は保護ソケットを外してください。点灯しない場合にはLEDの極性をご確認下さい。

ケースのフロントパネルへ
(保護ソケットを外して下さい)



マザーボードへ



設定モード

- 設定モード：SETボタンを3秒以上押しっぱなしにすると、時計の数字表示が点滅し設定可能となります。DOWN/UPボタンで数値を設定し、SETボタンを押して次の設定へと移ります。設定モードに入った後、ホイール/ENTERボタンを押すか、どのボタンも押さずに20秒以上経過すると通常モードに戻ります。内蔵の単3電池2本により、電源を切っても全ての設定が保持されます。保持設定をリセットする場合は背面スイッチをOFFにし再起動してください。
- 設定モードの順序：時→分→CPU上限温度（温度センサーT1で検出される）→HDD上限温度（温度センサーT2で検出される）→VGA上限温度（温度センサーT3で検出される）→SYS上限温度（温度センサーT4で検出される）→摂氏℃/華氏F切替→時...の順に切り替わります。

ファンコントロール機能

- 注意：必ずファンを接続してからPCの電源を立ち上げてください。CMT-7動作中にファンを接続しても動作しません。
- ファンコントロールタイプの切替：AMボタンを押すことにより、オート動作とマニュアル動作を切り替えます。液晶左右下部に現在の動作モードが表示されます。
- オート動作：温度センサーから検出される温度に基づいて、予め設定されたファンPWMレベルで動作します。各温度センサーに対応して各ファンが動作しますが、F4/F5/F6/F7は全てT4に連動して動作します。温度とファンPWMレベルの設定はP3の「オート動作時の温度対出力のカーブ設定」のグラフをご覧ください。
- オート動作時の温度センサーとファンチャンネルの関係

温度センサーT1(CPU)	→	ファンチャンネルF1
温度センサーT2(HDD)	→	ファンチャンネル F2
温度センサーT3(VGA)	→	ファンチャンネルF3
温度センサーT4(SYS)	→	ファンチャンネルF4,F5,F6,F7
- マニュアル動作：温度センサーから検出される温度と関係なく、ホイールにてファンPWMレベルを操作します。DOWN/UPボタンでF1-F7までのファンを切り替えます。F1-F7まで全てのファンの速度を独立して操作できます。
- ファンPWMレベル表示：現在のファンPWMのレベルを8つのブロックで表示します。
- ファン回転数表示：ファンの回転数を各々表示します。DOWN/UPボタンでF1-F7までのファンを切り替えます。ファン回転表示はファンの動作状態を表示します。ファンが接続されていないときは回転マークは動きません。ファンコントロールのボタン操作をしていない時はファンコントロールの動作モードに関わりなく自動的に5秒で切り替わります。
- ファン最大回転機能：設定モードにて設定した7度以内の温度を検出すると、動作モードに関わりなく自動的に各温度センサーに対応したファンチャンネル（上記、温度センサーとファンチャンネルを参照）が最大回転になります。設定の7度以内を脱すると最大回転を止めて通常動作に戻ります。



アラーム機能

- 設定モードにて設定した温度をオーバーするか、ファンが600rpm未満になると自動的にアラーム機能が働きます。アラーム機能が働くとCMT-7は次の動作をします。
 - ・LCDが赤く点滅する
 - ・原因となっている箇所が点滅する
 - ・温度が原因の場合、オーバーヒート表示が点滅する
 - ・ファンが原因の場合、ファン警告表示が点滅する
 - ・ブザー音が鳴る
 - ・全ファンが最大回転になる
- アラームが働いている状態で、ボリュームボタンを押すとブザー音のみ停止できます。20秒経過した場合も自動的にブザー音のみ停止します。温度が設定温度以下になるか、ファンの回転数が復帰しない限りはアラームは解除されません。
- アラームが解除された後、マニュアル動作の場合は全ファンがもとのマニュアル設定値に戻ります。オート動作の場合は温度センサーから検出される温度に基づいて動作します。

その他の各部機能

- バックライト色切り替え機能：COLORボタンを押すことによって、LCDとボタンのバックライトを切り替えます。バックライトは6色に切り替わります。水色→青→緑→紫→黄緑→薄青→水色..の順に切り替わります。
- 時刻表示機能：時間を時計の形式で時（数字）と分（2.5分単位の分針）で表示します。時刻の設定も可能です。
- ボタンロック機能：LOCKボタンを3秒以上長押しすると、ボタンロック表示が点灯し、PCのPOWER/RESETスイッチ操作が無効になります。再びLOCKボタンを3秒以上長押しすると、ボタンロック表示が消えて解除されます。POWER/RESETケーブルをPCIに接続していない場合は機能しません。
- HDDアクセス表示機能：マザーからのHDD LEDのケーブルが接続されている場合、HDD LEDの信号に伴いHDDアクセス表示が明滅します。HDD LEDケーブルをPCIに接続していない場合は機能しません。

アラーム初期設定値

- T1(CPU)=65°C/149 F
- T2(HDD)=55°C/131 F
- T3(VGA)=45°C/113 F
- T4(SYS)=65°C/149 F

内蔵電池(単3電池2本)

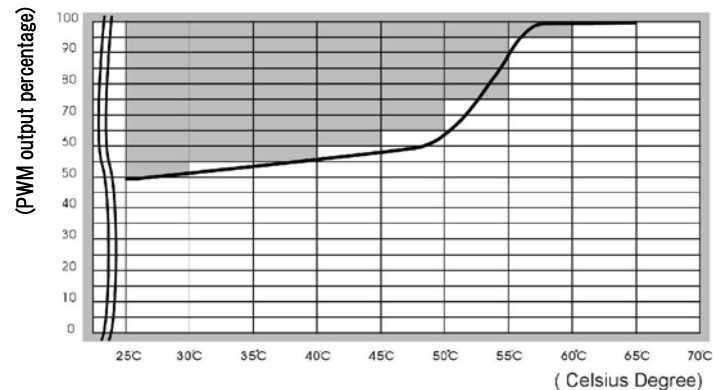
- 設定を記憶するために単3電池2本を内蔵しておりますが、電池は動作確認用のため寿命が短い場合がございます。
- 電池を交換する場合
 - 1: 全ての配線を取り外しPCからCMT-7を取り出して下さい。
 - 2: 背面スイッチをOFFにして、CMT-7の左右2箇所・計4箇所のネジを取り外し、アルミカバーを取り外してください。
 - 3: CMT-7背面中の電池ボックスの蓋ネジをプラスドライバーで慎重に外し、スライドさせ蓋を取り外してください。ドライバーで基板や部品を傷付けないよう注意してください。
 - 4: 新しい単3電池をプラス・マイナスの方向を確認してはめ、取り外した蓋・ネジ・アルミカバーを元通りにはめ、背面のスイッチをONにしてPCIに再度設置して下さい。設定が工場出荷時と同じになるため再度設定してください。

注意事項

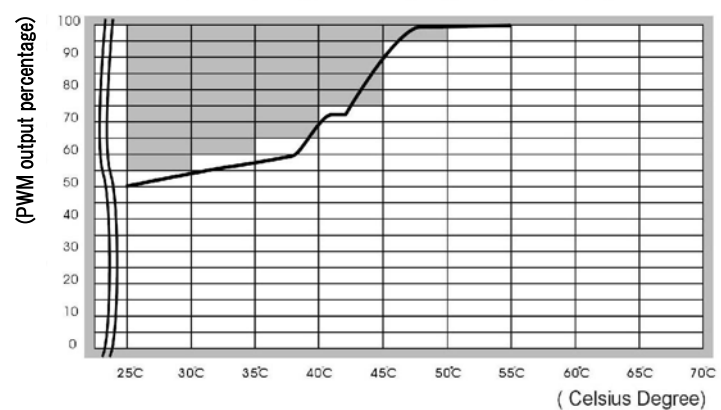
- 本製品は動作状況を常時確認できる状況でご使用ください。PCIに異常が発生した場合は保護措置が必要になります。
- 本製品が異常の警告を発した場合はすみやかに異常の原因を解決して下さい。異常を解決したのち、当製品を再度使用してください。
- 本製品使用中に背面の電源ケーブルを引き抜かないで下さい。製品が破損する恐れがあります。
- 水分や湿気を避けて使用してください。
- 動作中は内部の電子部品に接触しないで下さい。
- CPUダイ表面とヒートシンクの間に温度センサーを設置しないでください。CPUを安全に冷却するためにはCPUダイとヒートシンクは十分に密着する必要があります。CPUダイ以外のセラミック部分とヒートシンク間に十分な隙間がある場合のみ、その間に温度センサーを設置してもかまいません。

オート動作時の温度対出力のカーブ設定

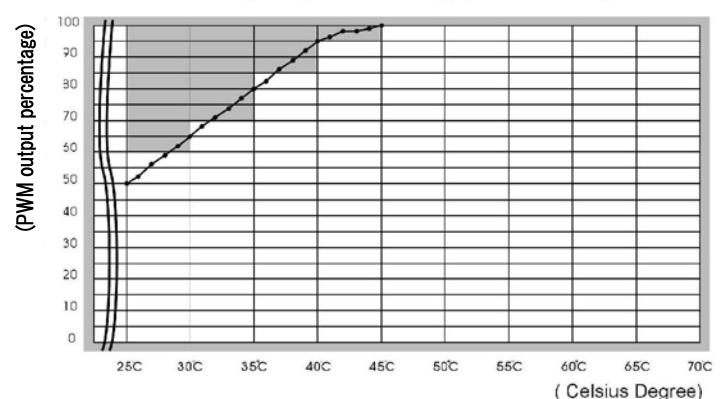
- T1/F1 CPU：温度範囲25°Cから65°C（25°C未満では50%、65°C以上では100%）
CPU: (Temperature range: 25C to 65C)



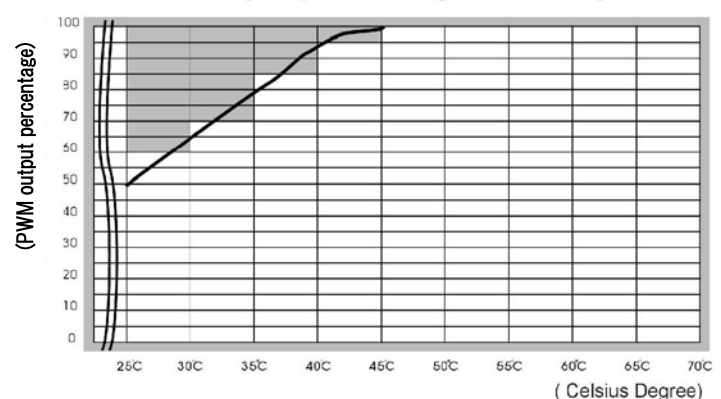
- T2/F2 HDD：温度範囲25°Cから55°C（25°C未満では50%、55°C以上では100%）
HDD: (Temperature range: 25C to 55C)



- T3/F3 VGA：温度範囲25°Cから45°C（25°C未満では50%、45°C以上では100%）
VGA: (Temperature range: 25C to 45C)



- T4/F4 SYS：温度範囲25°Cから45°C（25°C未満では50%、45°C以上では100%）
SYS: (Temperature range: 25C to 45C)



CMT-7保証書

- 正常な使用状態で、下記保証期間内に故障した場合は無償修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - 1.保証書の提示がない場合。
 - 2.保証書の所定事項が未記入、または字句が書き換えられた場合、及び販売店の表示がない場合。
 - 3.使用方法の誤り、あるいは当社以外での改造や修理による故障または損傷。
 - 4.火災または天災による故障または損傷。
 - 5.お買い上げ後の輸送、移動中の落下等による故障または損傷。
- 本製品の故障またはその使用上生じた直接、間接の損害につきましては当社はその責を負いません。
- 製品不具合によるデータ等の消失（再構築にかかる費用、時間も含む）については保証できません。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証書は日本国内でのみ有効です。

株式会社アイネックス
東京都西東京市芝久保町4-1-15
TEL:0424-67-7676 <http://www.ainex.jp/>

保証期間 ご購入日より6ヶ月間

ご購入日 年 月 日

販売店